

令和 8 年度夏季環境・省エネルギー巡視報告

1. 巡視日・部局等

- 7 月 16 日 社会共創学部、法文学部、国際連携推進機構、ミュージアム、デジタル情報人材育成機構
- 7 月 17 日 先端研究推進課、学術支援センター(物質科学研究支援部門)、地域協働支援機構
- 7 月 21 日 附属学校園(持田)、農学部、附属高等学校

2. 巡視内容

(1) 資料送付による事前説明

- ・令和 8 年度環境目標実施計画
- ・部局毎の電気使用量及び電気料金の年度・月別の推移
- ・夏季省エネルギーの取組についての周知（冷房期間、各種啓発ポスター等）
- ・環境・エネルギーマネジメント委員会で報告した令和 7 年度の全学の電気使用量について
現地で直接担当者へ説明し情報共有

(2) 現場確認

- ・部分消灯実施状況
- ・啓発ポスター掲示状況
- ・冷蔵庫・空調温度の設定、ロスナイ換気およびサーキュレータの活用状況

3. まとめ

昨年度に引き続き、資料送付による事前説明と現場確認を組み合わせた効率的な巡視を実施した。その結果、部分消灯や適切な温度管理などの省エネ取組が各部局に定着していることを確認した。一方で、ロスナイ換気や全熱交換器の活用については周知が十分でない部局もあり、今後さらなる啓発が必要である。

好事例

- ・環境や省エネに関する啓発ポスターの掲示（部局独自の取組を含む）
- ・部分消灯や退出時の電源確認、タイマー設定による節電対策を実施
- ・サーキュレータやロスナイ換気、全熱交換器の活用
- ・空調の集中管理
- ・機器特性に応じた適正な空調設定
- ・会議等を通じたエネルギー使用実績の共有と課題分析による改善活動の推進



No. 1

社会共創学部

独自のポスターで省エネを

呼びかけ



No. 2

国際連携推進機構

電源付近にチェックリストを

掲示

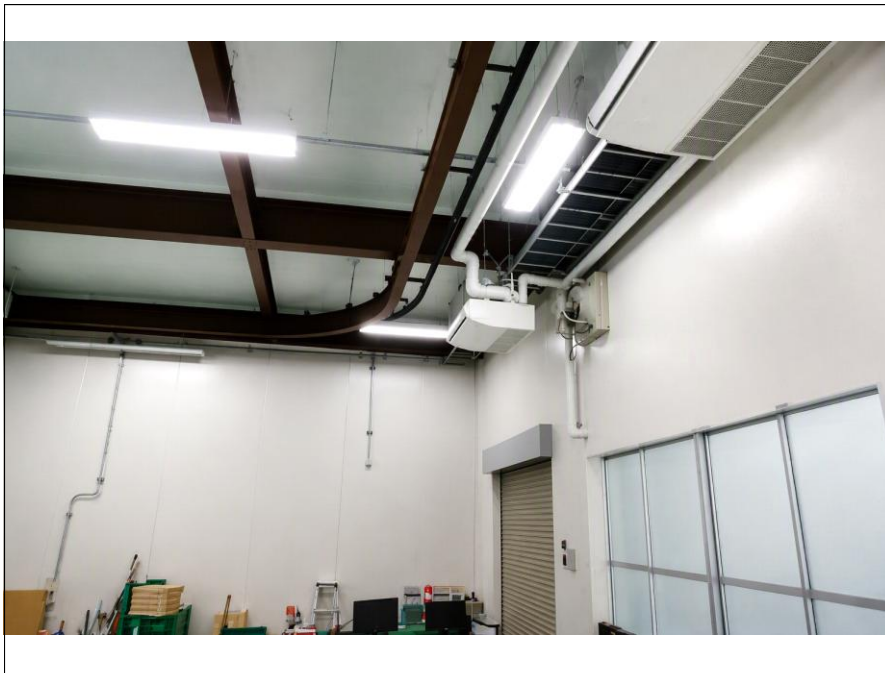


No. 3

学術支援センター
(物質科学研究支援部門)

空調消し忘れ防止用の

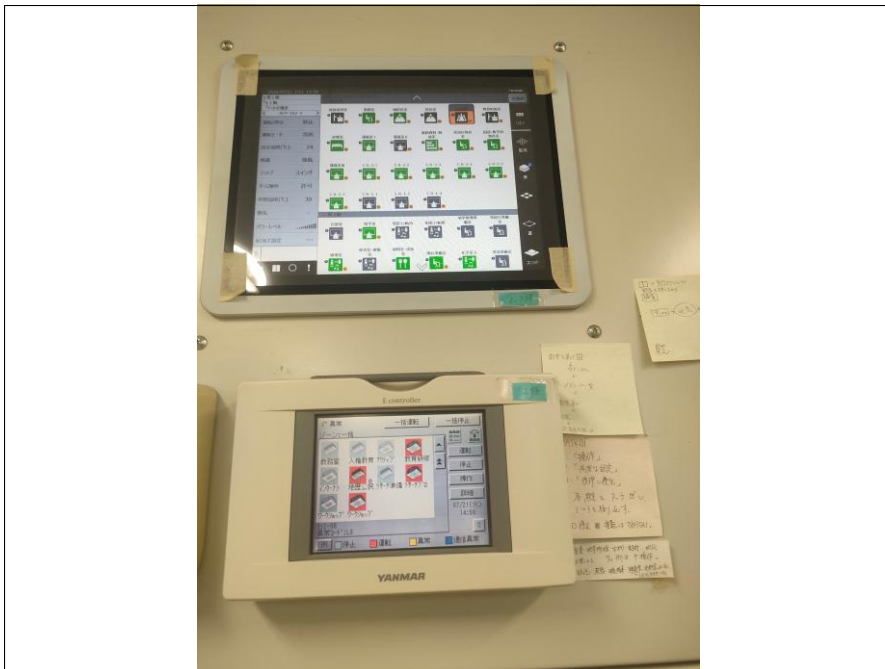
タイマー設定



No. 4

農学部

省エネ性能の高いエアコンを
採用



No. 5

附属高等学校

空調設備の中央監視・制御